

津奈木干拓とテニスコート



去る三月七日町民待望のテニスコート開きを取り行いました。当日は特に御願いをし、県軟式庭球協会の田中典次先生と県テニス協会の林勝先生をお出頂きました。田中先生は町民に大変馴染の深い方で、皆様が夙に御存知の通りですが、お若い頃からテニスをやっておられるのを知っている人は少ないと思います。林先生は本町桜戸の御出身で九州帝大医学部を

六車孝吉

干拓直後

それにも増して齊藤村長さんの執念は燃えに燃え見事干拓を完成されました。齊藤亀崎町長さんの時代に農地造成が狙いであったので、一日も早く農民に配分するようにと政府・県の要求は大変さびしいものでしたが、亀崎町長は、柳に風と受け流して

ただならぬもので、その御苦労の中であって政府もやっとならぬことに決まり、一同大喜びでいた所に思いがけなく襲来した伊勢湾台風で、それまでの設計を根底から見直さねばならぬことになりました。津奈木干拓も白紙にもどされましたが、それにも増して齊藤村長さんの執念は燃えに燃え見事干拓を完成されました。

津奈木町が日本中でひびく「山は緑、海は青」の助成金をどうして導入されたか私は大変不思議に思っていました。熊本県ではこの助成金をもらったのは長洲町以外にはなく、六車町長さんにおききしても唯ここにこされるだけでその理由は明かして下

「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。」これは明治の文豪夏目漱石が、熊本を舞台に書いた小説「草枕」の冒頭の言葉である。

津奈木

前は乃西

発行所 津奈木公民館
津奈木町 津奈木
電話(代表3111)
編集 編集委員会
印刷所 あすなろ印刷
電話(水保)35147番

津奈木とテニス

熊本県軟式庭球協会 田中典次

津奈木干拓 昨年夏のことでした。鶴田教育課長さんから、今度テニスコートを作るので、その折は来て下さいよ、と私には誠に嬉しいお話を承り、私からお願いで参上しますよ、と申しました。

土地配分をバラリくかわしておられました。そろそろ日本でもあまる時代が来ることを予見しておられた訳です。そして亀崎町長の予見が当たって農地配分はしなくてもよい時代が来しました。日本一の八郎潟干拓でも米の作付制限で大きな問題が起きている今日、農地配分をしてみたら総合グラウンドは夢にまで考えられなかった訳で、津奈木は本当に幸運だったと思

さいませんでした。私はふとした事からその理由が判りました。テレビでおなじみの笹川一さんは大変な親孝行者であることは皆さん御承知のことです。六車町長さんにはもう御両親は居られませんが、叔母上様を大変大切に親にもまさる孝養をつくり、百才の目出度い年を迎えられた事が笹川会長さんの耳に入っ

「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。」これは明治の文豪夏目漱石が、熊本を舞台に書いた小説「草枕」の冒頭の言葉である。

一言

津奈木小学校



- 前列右から
鬼塚 徳喜先生 校長
村上 昭子さん 庁務
本村 真也先生 四年二組
森田 幸子先生 四年一組
原口 恭子先生 三年一組
山本 澄代先生 三年二組
福山 シエ先生 二年一組
田河 慶子先生 二年二組
森下 浄子先生 一年一組
後列右から
森山 道子先生 一年二組
栄養士
中村 辰子先生 一年一組
- 田中 正臣先生 教頭
鬼塚 岩雄先生 理科
山下 博之先生 事務
大淵 雅子先生 養護
鬼塚 徹先生 複式
右田 恒美先生 六年二組
山田 義博先生 六年一組
本田 浦子先生 五年二組
松岡 耕平先生 五年一組
外 一年一組

町内各小・中学校

私達の先生



- 前列右から
有田 秀子先生 養護
池田 郁雄先生 五年
由川 二郎先生 校長
岩崎 新先生 教頭
鶴田 和彦先生 三年
後列右から
野崎由美子さん 庁務
和田 啓子先生 二年
吉海 広先生 六年
倉岡佳代子先生 一年
津川 雄二先生 四年

赤崎小学校



- 前列右から
寒川 正典先生 六年
東 栄助先生 四年
野口 久生先生 教頭
出水 晃先生 校長
後列右から
石田 昭子さん 庁務
松原 千鶴先生 養護
森山サツキ先生 二年
北田 幸子先生 一年
宮本 修子先生 五年
押方 信博先生 三年

津奈木中学校



- 前列右から
宮田久雄先生 教頭
金森 満先生 生活指導
生田 長久先生 三年主任
坂本 郁博先生 三年二組
村田 晃治先生 三年一組
西 宏子先生 二年二組
後列右から
吉田 扶先生 校長
本田 邦生先生 二年二組
小嶋 陽先生 二年主任
- 松本 秀子先生 養護
中村 末男先生 一年一組
山下 昭郎先生 二年三組
江口 龍文先生 二年一組
向松 時良先生 一年主任
柳迫マサ子さん 庁務
野田 浩次先生 一年一組
佐々木興四郎先生 一年二組
長谷川徹郎先生 事務
浜田 洋一先生 教務

県民体育祭を成功させよう

議題は県民館ホー
ルにおいて
第一回津奈
木町実行委
員会が、諫
山助役以下
六十五名の
出席で開催
された。



本年九月 市民体育祭を成功させようの
スローガンのもとに、第一に、
十八・十九 第三十七回県民体育祭津奈木
町実行委員会及事務局
祭が芦北・ 業務分掌について約一時間半
水俣郡市で 開催される
開催される ために、その
ため、その 今後数回の実行委員会並びに
成功を期し 常任委員会が計画されている
て去る四月 二十三日(委員会では選手の前泊等町
二十三日) 民の方の御協力を得なければ
金 午後一 ないことが多いので全町一致
時三十分 津奈木町の協力を願っている。

帰りの車の中で御祝いに
も 思った。萬年池の美酒を抱
きながら、もう一度そして二
度みどりのコートに手を振り
つづけた。ボンボヤージ!!!



新しい四面のコートよ
日からうむことなく、つよく
し同級生だった吉野安馬君(正しく、美しく、そしてたく
日添)と会えてかたく手を握
ることが出来て、嬉しさを、育
つかしき限りなし。

エビネ愛好会・公民館に花園寄贈

去る四月十七日十八日に津奈木町公民館で、エビネ愛好
会(会員六十一名)主催の展示会が開かれました。
その際、会員の提案により、津奈木町公民館裏の梅の
木の下にエビネを植えることになり、二十四日約一
百本の花が植えられました。会員の話では「毎年手入れ等
もやっていた」とのこと、ありがたうございました。

このたびの台湾訪問で、私
の胸中には今尚、「徳を以つ
て怒に報いる」という言葉が
烈々な思いで残っています。
第二次世界大戦終戦間際、
わずか七日間の参戦で戦勝連
合国となったソ連は、日本の
「分割占領」つまり現在の西
ドイッのような形を提案した
のに対し、これに猛反対し、
日本の分裂と混乱を招き、天
皇制の存続と賠償権放棄とい
う「以德報怨」の寛大な政策
を実践したのが蒋介石総統で
あったことを初めて知らされ
ました。

この時の感動は今尚忘れる
ことができません。
終戦まで長い間、日本軍と
戦ったにも拘わらず、総統の
この慈愛に満ちた措置がなか
ったならば、私達の今日の自
由も平和もなかったのでは
ないか……

残念ながら現在日本と国交
を断つたままなのに、あたた
かく迎えてくれた現地の方々
の思いやりや、楽しかった台
湾の青年団との交換会も忘れ
ることができません。ここは
日本ではないだろうかと思う
ほど親密感を覚えたものでし
た。台湾では今年七月世界女
子ソフトボール選手権大会が
画されています。

高校生の教室

ウインドサーフィン

教育委員会では本年度社会
体育努力目標の一つである、
海洋性スポーツの普及の
一環としてウインドサーフィ
ンの器材を購入し、指導者講
習会を五月二十三日と六月六
日に開催し指導者の養成を計
画しています。

楽しかったテニス教室

総合運動公園テニスコート 気で終了した。
の完成に伴い、去る四月四日、また、ぜひ計画して下さい
から毎週日曜日(4、11、18、と強い要望もあり好評を得た。
25日)の四日間、町内の中学 今後、これを機会に、テニス
生を含んだ愛好者延べ一九三 コートがフルに利用され、各
人が参加し、「初心者のため 自の技術向上及び健康づくり
のテニス教室」が実施された。に貢献できることを願ってい
る。
初日は、B&G体育館ミ
ティングルームで、午前十時
から開講式、引続き矢野明(軟式テニス) 井山忠行(硬式
テニス)の両指導者よりルー
ル等の理論を聞き、午後から
さっそく、実技に入った。
実技は、基本的動作、ルー
ル等を学んだ。ラケットを持
つのは始めてという参加者も
あったが、最終日は、ちょっ
としたプレーも行なえる上達
ぶり、終始なごやかな雰囲
気。

大きなイベントとして予定さ
れているようで、国際政治の
圧力もあると聞きます。ある
青年の一人が「日本も必ず参
加してくれることを信じてい
ます。」と言った言葉が印象
的でした。今日、国際試合が
盛んな我が国、それをこく当
然のように受け止めている私
達に、ズシリとくる言葉でし
た。厳しい国際事情の中に置
かれていた台湾の立場は決し
て幸福だとはいえないようで
す。中学生位の女子生徒の射
撃訓練を見た途端、経済摩擦
の矢面に立たされている我が
国以上の厳しさを感じたもの
です。できることならば大陸
(中華人民共和国)との国家
統一への道を歩んでいただけ
たらと、私の個人的な思いが
強いですが、良い思いが
出を残してくれた彼らの幸福
参加したいものです。

と世界選手権の成功を心から
お祈りする次第です。
そして今回、本町から他の
八名と共に、第五回・B&G
「若人の船」に参加して良か
ったと自分自身思えたこと
が何よりも収穫であったと
確信しています。



B&G 「若人の船」台湾に学ぶ 内野 山口 武久



干拓以前

病生活というのですが、八
十才に近い両選手の友情は今
も消えることなく続いている
訳で、スポーツに結ばれた心
のつながりの温かさ、強さに
は唯々頭が下るばかりです。
私はテニスコートが四面も
ならんで立派に出来たことを
一テニス人として心から祝
い申し上げますと共に、その
コートが足りない位に多数の
若い人がテニスに精通し、生
涯消える事のない友情を育く
まれることを心から祈念して
やみません。

中学生諸君へ
今からテニスを始める中学
生の皆さんにくれぐれも訴え
たい事があります。
テニスを始める時は必ず
両方から、おじぎを交換して
はじめて下さい。後衛は練習
時間の半分は前衛のために、
スマッシュ・ボレイなどの練
習をさせるものと考えて下さ
い。前衛のプレーは大変むづ
かしく、後衛の上達にはな
なかつて行けません。前衛
はテニスコートが狭すぎるぐ
らい左右にあれば回るのが何
よりのつとめで、敵に抜かれ
ることを決して恐れてはなり
ません。サーブは二
つありますが、第一サーブを
入れるように慎重に心掛け、
二つあるからといって第一球
を峰へく抜くはなりません。
ん。



百二十の女流選手
一球一打胡蝶の如く
コート一ぱいに
活躍する
女子師範優勝
優勝組も
女子の松本鳥居組
女子の松本鳥居組

球技はどれでもボールから
目を離さないことが鉄則です。
猛烈なボールで突かれても決
してボールから目を離さない
こと。ラケットの中央にボー
ルが当たらないのはボールから
目が離れている証拠です。目
をつぶることはほとんどない
ことです。後衛は堅忍持久
下さい。

十年でも二十年でも長くつ
づけることがテニスです。精
一杯頑張ってください。



熊本県テニス協会長
林 勝
三月七日、天気晴朗、車は
今日も高速道にのっている。
津奈木に帰るときいつもの
道路パターンである。前夜の
微酔も手伝って、田浦も湯浦
もそして三太郎までも夢の彼
方に消えてゆく。
ハッと仮眠から醒めれば、
右手にはいつに変わらぬつか
しの長盤。澄んだ青い空に
今日も、岩頭の日丸は白く
はためいていた。
約束の十時には新生コート
に着いて、待 どもなく旧

のふるさとなればこそ。
セレモニーも目度く済ん
で
コート開きの第一球
白い球がはすんでいる。
低い力がよい打球音が返
ってくる。
男島から、鏡ヶ崎(ヨネ崎)
から
軽い練習のあと、この日の
ためにわざわざ山(辻)を降
りてコート開きにきてもらっ
た井山さん父子、林父子のダ
ブル親子のダブルスゲームを
憶面もなく披露する破目と相
なった。

七〇年の今昔

知の田中典次さんもみえた。
九州では初めてという「グ
リーン・サンド」を使った緑
のコートが眩しく光っている。
海の見えるコート
四面ならんだ清潔なコート
潮騒をはこんでくる風はあ
くまでも快適である。
蒼い海の高うには、天草
の島じまも霞んでいる。
コート開き
やがてコート開きのセレモ
ニーがはじまる。
六車町長の挨拶のあと、田
中さんも私も感激に声を昂ぶ
らせながら御祝いの言葉をの
べる。話しているうちに不覚
にも目がしらがうるんでくる

昭和滄桑の姿
それでも果して、この恵ま
れた津奈木の海近き景勝の地
に、誰が、すばらしいこのテ
ニスコートを、
夢想し得たであろうか。
コートの下には「ガネー」
かに、「ガネー」踏み、
「ガネー」つかみ、「シヤク」
掘り、「ほぜ」拾い、そして
「カキ」打ちの広場をつとめ
あげた濁(がた)がねむって
いる。
夢は、憶い出は七〇年前に
かけぬる。
まさにこれは「昭和滄桑の
姿」ではないか。
コート開きのあとはなごや
かな昼食パーティー。ここで
も何人かの旧知のひとびとに
会えてほんとうありがたいこ

昭和五十七年度生活改善目標決まる

本町生活会議推進協議会(生活改善)を考へる会では、去る三月二十四日、昭和五十六年度実践活動の反省に立ち、昭和五十七年度も、昨年の生活改善実践目標をそのまま継続して、強力に推進することとし、町民各位の絶大な協力をお願いしている。

一、結婚式の引出物を出さない。
二、葬儀の花輪は自粛する。
三、葬儀の祭壇はお寺の備付け(門徒のもの)を使用する。

赤松地区上・下部落では、かねて合意に達しながら実施を差控えていた生活改善案を一月二十三日の婦人臨時常会にて実施にふみ切りました。

その内容は次のとおりです

一、冠婚葬祭について
①お返しはしない
②引出物なし
③お茶入れはしない
④通夜一〇〇〇円
⑤香典一〇〇〇円
⑥初盆灯ちん代一〇〇〇円

二、病氣見舞について
①金額一五〇〇円
②お返しはしない
③入院一日以上のとき三、上乗税

三、上乗税
①祝金一〇〇〇円
②お返しはしない

従来、お通夜のめざまし、葬式の花輪、入院見舞の果物など思い思いにやっていたのを一律に現金のみとし、お返しなしとしたのは大きな前進である。特に上乗税の焼酎二本を、現金一〇〇〇円の、お返しなしとしたのは、双方にとって有難い改善であった。

小津奈木の新生活運動

一、病氣見舞について
①金額一五〇〇円
②お返しはしない
③入院一日以上のとき三、上乗税

二、病氣見舞について
①金額一五〇〇円
②お返しはしない
③入院一日以上のとき三、上乗税

三、上乗税
①祝金一〇〇〇円
②お返しはしない

従来、お通夜のめざまし、葬式の花輪、入院見舞の果物など思い思いにやっていたのを一律に現金のみとし、お返しなしとしたのは大きな前進である。特に上乗税の焼酎二本を、現金一〇〇〇円の、お返しなしとしたのは、双方にとって有難い改善であった。

ひがなばな(一)

その金次が、ある日病氣にかかったので、みんな大そう心配して、毎晩集まって介抱しました。

金次のかわりに、足のわるいコロちゃん、ドロンと、時々人間さまのところへ行きますが、足がわるいので少ししかもらってこられず、へまをして子供にぶつたたかれたりしてへなへなになってしまった

童話 佐々木しずえ作

人間の涙をためて金次はじりしました。そんなコロちゃんを涙をためて金次はじりして見ました。

人間の涙をためて金次はじりして見ました。そんなコロちゃんを涙をためて金次はじりして見ました。

津奈木の芸術

日野敏子



この絵は、長崎県の五島、福江島の静かな入江に建つゴシック風建築の天主堂を描いたものです。赤煉瓦の重厚な暖かさ、小さな漁村の人情味とが溶け合っており、あたりは、ない所であり、よく子どもた何ともいえず、のどかな景観を醸し出しています。明治41年、外国人宣教師の手によって完成したこの教会は、数十年の歴史の中で、人々の心の安らぎ、よりどころでした。当時、私が勤務していた養護施設も、ここからそう遠くつ荘厳さに圧倒されたためのもようです。

仕事に追われ、妻となり、母となり、時間にも、心にもゆとりが持ち難くなった現在絵画への憧れは募る一方です。が、ゆくり筆を持つことはやはり、至難のわざのようです。

わが町の先生たち

津奈木幼稚園

写真右から
栄永美穂子先生
日野敏子先生
財部留夫先生
伊藤多美子先生
山下泉先生



PTA
会長 白浜和幸
副会長 伊藤亮
長浜ノブエ

名木紹介(いす)



場所 上下門
所有者 福島 円太氏

米寿に寄せて

林田タマ

黄色い帽子にチャンチャンコ
満面笑みて恵比須さま
唄いましょうか踊りましょ
寿ぐ令八十八

伸びゆく幹を支えつつ
根強い大木は風雪に
耐えて守りて幾星霜
年輪やがては一世紀
文明開化の変遷は
重き荷を負い坂道を
登ることなく昼も夜も
走るよ車は尾根までも

春爛漫に人びとの
心もなごむ不知火の
南風の潮風こちよよく
不老長寿の兆あり
量り知れない親の恩
報ゆることなき子等はみな
せめて余生の饌に
睦み交して扶け合て
祝詞をのべてついほろり
父の佳き日とらほらに
いのちみじかき母や夫
しのぶ喜哀の二重奏
子孫孫の集いきて
宴はたけなわ盆に
希い叶わば承らへて
恙無き日を白寿まで

昭和五十七年度 団体役員紹介

- 公民館運営審議会委員
及、社会教育委員
- 岡松 壮 寺本 一喜
浜本 博祐 鶴野 申洋
吉田 扶 鬼塚 徳喜 宮崎 哲 尾花ミヅノ
出水 晃 由川 二郎 野崎 節子 山口 武久
財部 留夫 福村 安則 福田 信順 (順不動)

陶芸展開かる

去る四月十七、十八の両日津奈木町公民館和室でクラブ員がたんせいこめて作った数百点の花瓶、湯のみ、徳利等がならべられ、観覧者の目を引いた。また特別作品以外の作品は即売されたが、数多く作品が売れ、関係者を喜ばせていた。



津奈木町老友会

大泊 川添 新次郎

- 会長 福村安則 中尾 緒方 孝行
副会長 福島円太 古中尾 山本 直
監事 岡松カキ倉谷 益田 八百喜 茂
藤本兵五 上下門 山路 茂
地区名 会長名 川内 西平 定義
竹中 藤本兵五 福浦 福山 末義
染竹 鶴野己登志 平国 福村 安則
浜崎 福島末喜 日当 篠原 常義
桜戸 浦口初義 日添 小嶋 正弘
町中 田村 正 小津奈木

肥後狂句

堀双岳選

困った、ひまぐつとに寝た
卒業して、三年経ってん怪か
じり 一平

困った、行く先タイ餅の出る
卒業して、就職よりか養子口
館編集部へ。 双岳

次題
出来損ない。まさか。一題一
句迄。六月二〇日まで。公民
館編集部へ。

短歌

天地をやらに包み春の夜の
雨に溶け入る辻の街灯
なでつけしごとくに樹々の傾きぬ
沙風つよき西方の浜 小嶋 正弘

花よりも自利でゆかむ年毎に
屋敷のまわり果樹を植えゆく
見るもよし見ざるもよしと山桜
人來ぬ山に咲きほこり居り 鳥居 保

俳句

たかくひくくもつれ飛びゆく蝶一つ
百花撩乱みつ峰まに稼ぎとき 鳥居 保

婦人会

- 赤崎校区婦人会
会長 尾花ミヅノ
副会長 篠原はま子
会計 開田ヒサノ
塩屋支部長 日当 上村安子
日添上 吉野ケイ子
日添下 藤原秀代
平国校区婦人会
会長 鬼塚妙子
副会長 野崎節子
会計 野崎久子
書記 吉野ミエ子
生協係 村上国子
体育部 上村サミ子
福浦支部長 山サダ子
平国上 村上国子
平国下 上村サミ子
- 津奈木校区婦人会
会長 宮崎 哲

津奈木町連合青年団

山口 武久

- 副団長 新立晴敏
広報部長 久村庄次
女子部長 浜田晴美
文化部長 浜田辰也
産業部長 坂本義治
体育部長 新立 豊
事務局長 新立 豊
事務局員 新立 豊

津奈木小学校

本山 勝三

- 会長 本山 勝三
副会長 齊藤 卓也
赤崎小学校
会長 佐々木 満雄
副会長 上村 義晴

PTA

吉川 敬一

- 会長 吉川 敬一
副会長 村上 昌敏
千々岩 勝次郎
犬東 保一

平国小学校

福田 祐二

- 会長 福田 祐二
副会長 岩崎 博文